

第 36 回日本がん看護学会学術集会

会場開催 WEB 開催

日時 2 月 19 日(土), 20 日(日)

会場 パシフィコ横浜 NORTH(横浜市西区)

テーマ パラダイムシフトへの挑戦

プログラム 会長講演「パラダイムシフトへの挑戦—がん看護をそうぞう(創造・想像)する」栗原美穂(国立がん研究センター東病院 看護部長/がん性疼痛看護認定看護師)/特別講演「これからのがん治療の展望—がん看護への示唆」金子新(京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門 免疫再生治療分野 教授, 筑波大学医学医療系臨床医学域がん免疫治療研究分野 教授)/教育講演 1「ビッグデータから見えてくるがん医療の質と課題—新しいがん看護の創造のためのヒント」若尾文彦(国立がん研究センターがん対策研究所 事業統括)/2「看護に活かす腫瘍循環器学」佐瀬一洋(順天堂大学大学院医学研究科 臨床薬理学 教授)/3「もっと知りたいがん患者の妊孕性支援」秋谷文(聖路加国際病院女性総合診療部), 稲村直子(国立がん研究センター中央病院 副看護師長, がん看護専門看護師)/4「CAR-T 療法の実際と看護に求められること」後藤秀樹(北海道大学病院血液内科 診療講師), 近藤美紀(国立がん研究センター東病院 副看護部長, がん化学療法看護認定看護師)/5「高齢がん患者の看護を行うにあたって知っておくべきこと!」小川朝生(国立がん研究センター東病院精神腫瘍科 科長)/6「放射線療法に伴う晩期有害事象へのケア」後藤志保(がん研有明病院画像診断センター・放射線治療部 看護師, がん看護専門看護師)/シンポジウム/パネルディスカッション, 主催企画, 交流集会, 教育セミナー

参加費 会員 1 万 2000 円(会場参加+WEB), 1 万円(WEB のみ), 非会員 1 万 4000 円(会場参加+WEB), 1 万 2000 円(WEB のみ), 学生 4000 円(会場参加+WEB), 3000 円(WEB のみ),

・申し込み, 支払いは 2 月 20 日(日)17:00 まで(支払方法はクレジットのみ)

申し込み方法 学術集会 WEB サイトより申し込み。

URL <http://jscn36.umin.jp/guide/index.html>

問い合わせ先 [運営事務局]

〒550-0001

大阪市西区土佐堀 1 丁目 4-8 日栄ビル 703A

あゆみコーポレーション内

☎ 06-6131-6605

FAX 06-6441-2055

✉ jscn36@a-youme.jp

第 36 回日本助産学会学術集会

WEB 開催

日時 3 月 19 日(土), 20 日(日)

テーマ ウィメンズヘルスを始点とする助産ケア

プログラム 会長講演「ウィメンズヘルスを始点とする母子ケア」渡邊浩子(大阪大学大学院医学系研究科)/ICM 特別講演(同時通訳あり)「An autonomous profession: implementing ICM's Midwifery Professional Framework」Dr. Sally Pairman (Chief Executive at ICM)/特別講演 1「産婦人科医が取り組む生涯を通じたウィメンズヘルスケア」木村正(日本産科婦人科学会理事長/大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学講座 教授)/2「『大切な人の「想い」とともに』112 日間のママ」清水健(フリーアナウンサー)/教育講演 1「多職種で実現する女性の心と体の健康」対馬ルリ子(医療法人社団ウィミンズ・ウェルネス 女性ライフクリニック銀座・新宿 理事長)/2「輝く老年期を迎えるための女性の支援」神出計(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授)/3「学生の主体性・やる気を引き出すかわり」根岸和政(大阪大学大学院工学研究科 講師)/4「エビデンスに基づくケアを提供する助産師が知っておくべき統計解析」新谷歩(大阪市立大学医学研究科医療統計学 教授)/5「母から子に受け継がれる腸内細菌」牧野博(株式会社ヤクルト本社中央研究所, 食品研究所, 食品第五研究室 主任研究員)/市民公開講座 1「親になること」青木さやか(株式会社ワタナベエンターテインメント, タレント)/2「子どもの脳を傷つけない子育て」友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター 教授)/シンポジウム 1「カリキュラム改正に向けての助産師教育の強化」(全国助産師教育協議会主催)/2「胎児期から乳児期までの切れ目ない支援」/3「COVID-19 の感染対策に奮闘した医療従事者の活動と今後の展望」/4「科学で育児を楽しむ」/5「がん疾患

を持つ AYA 世代の妊孕性の支援」／6「世界の助産師の活躍に目を向けよう：助産師を元気に」(若手研究者活躍推進委員会主催)／ワークショップ1「地域での継続支援を推進する」(日本助産師会)／2「助産師が行う避妊教育・相談の意義」(避妊教育・相談ワーキング)／3「アポーションケアの課題：女性、助産師、システムの調査から見たこと」(JAM アポーションケアプロジェクトメンバー)／4「災害に備える「減災カレンダー助産師版」の活用方法と活用効果」(災害対策委員会)／5「乳腺炎ケアガイドライン 2020 あなたも乳腺炎重症度判別スコアリングの達人になろう」(日本助産師会 授乳支援委員会)／6「ガイドラインの読み解き方と活用」(ガイドライン委員会)／7「社会の変化に即応する政策活動の展開—コロナ陽性妊産婦への支援」(日本助産学会主催)／交流集会1「『母子のための地域包括ケア病棟』を創ろう」(日本看護協会主催)／2「やせ体格の妊婦の体重増加をどう支援するか—改訂された『妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針』をふまえて」(研修・教育委員会主催)／3「助産政策に強くなろう！—第8次医療計画に向けた助産師の役割発揮」(助産政策委員会主催)／4「硬膜外麻酔分娩を助産師としてどう考え、何をしたらよいか」

参加費

〔第1次受付(～2月28日)〕 会員 8000 円、非会員 1 万 2000 円

〔第2次受付(3月1日～3月16日)〕 会員 1 万円、非会員 1 万 4000 円

- ・学生会員は無料、非会員の学生の参加費は 4000 円(第2次受付より申し込み可能)
- ・学生の範囲は下記の通り。
学生(会員)：助産師・看護師養成課程(専門学校・大学・大学院等)に在学している日本助産学会員(学生・院生)、学生(非会員)：教育課程に在籍している、日本助産学会会員ではない学生。
- ・学生会員は助産学会会員認証も必ず行うこと。
- ・学生の参加者は在籍証明書(学生証)の写しを事前参加登録システムよりアップロードすること(ファイル形式は JPEG、PDF、TIFF のいずれか)。

申し込み方法 学術集会 WEB サイトより申し込み。

URL <http://jam36.umin.jp/registration.html>

問い合わせ先 [運営事務局]

株式会社インターグループ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-20-1 インターグループビル

☎ 06-6372-3052

FAX 06-6376-2362

✉ jam36@intergroup.co.jp

第 16 回日本慢性看護学会学術集会

会場開催 **WEB 開催**

日時 [会場] 8 月 20(土)～21 日(日)

[WEB] 8 月 20(土)～9 月 19 日(月)(予定)

会場 一橋講堂(東京都千代田区)

テーマ 生～死によりそう慢性看護— Toward a meaningful life

プログラム 会長講演、基調講演、招聘講演、特別企画、教育講演、シンポジウム、イブニングセミナー、一般演題(オンデマンド配信)、交流集会(現地開催・WEB 開催)ほか

参加登録期間 [前期] 2 月 1 日(火)～7 月 1 日(金)、[後期] 7 月 7 日(木)～9 月 16 日(金)正午

参加費 (前期) 会員 9000 円、非会員 1 万円、学生(大学院生)8000 円(前期後期共通)、(一般学生)3000 円(前期後期共通)、(後期) 会員 1 万 1000 円、非会員 1 万 2000 円

演題募集期間 2 月 1 日(火)～3 月 22 日(火)

問い合わせ先 [事務局] 東京医療保健大学医療保健学部看護学科内

✉ 16jscn@thcu.ac.jp

[運営事務局] ユピア内

✉ manseil6@yupia.net

☎ 052-872-8101(平日 10:00～16:00)

FAX 050-3737-7331

URL <https://manseil6.yupia.net/>